

都道府県別賞一等

家族の愛を感じた生命保険

茨城県 結城市立結城南中学校 一学年

関根 向日葵

みなさんは生命保険に入っていますか。私は産まれてすぐに入ったそうです。なぜ産まれてすぐに生命保険に入ったかというと、病気になってから入りたくても制限されてしまつて入れない人が世の中にはたくさんいて、何かあつてからではおそいと思い入つたそうです。

私は四回熱性けいれんになりました。一日に二回なつた日もあつたので脳波の検査をするために入院しました。しかし、生命保険に入っていたおかげでお金があり、辛い思いをした私や看病してくれた両親で、美味しいものを食べに行き、気持ち的にも救われたと母が話してくれました。

また、小学生の頃に三度も骨折をしました。両親が入っていた保険ではお金がおりなく、祖母が私のために入つてくれていた保険では、お金がおりました。私は、保険によっては、お金がおりるものとおりにないものがあることを知り、驚きました。

それともう一つ、両親は自分の好きな道に進んでほしいと、どんなときでもあきらめないでやりたいことができるようにとの願いを込め、こども保険にも加入しています。この保険は子供の教育資金の準備を目的とした貯ちく型の保険で、子供の入学や進学に合わせて、教育資金、満期保険金を受けとれる保険だそうです。私の将来のために、さまざまな観点から物事を考えてくれていることにとても感謝しています。

生命保険は時に家族へのおくり物でもあり、大切な未来を守ることにつながります。元気だからという理由で生命保険を無駄だと思わないで、誤った情報にまどわされず、自分に合うかどうかを考えて、必ず良い結果になると信じて、選択できる大人になりたいです。

生命保険は、大勢の人が助け合い、お金を出し合っているからこそ、万が一のときに、大きな保障を受けとることができます。私は保険について学び、自分の保険をもう一度見つめなおし、いろんな人たちを支え、支えられ、感謝しながらすごしていきたいです。